

- 1 平安時代後期に院政を最初に始めた上皇は誰？
- 2 平清盛が日宋貿易を推進するために修築した、兵庫県の港を何という？
- 3 平安時代に唐から帰国し、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧は誰？
- 4 平安時代に、地方に赴任せずに京に留まったまま役職だけを持つ国司のことを何という？
- 5 平安時代に日本独自の文化が発展したきっかけとなった、遣唐使が停止された時期はいつ？
- 6 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？
- 7 平安時代、紀貫之に最初の勅撰和歌集の編纂を命じた天皇は誰？
- 8 平治の乱で勝利し、武士として初めて太政大臣に任命された人物は誰？
- 9 摂関政治を抑制し、独自の権力を取り戻そうとした天皇は誰？
- 10 平安時代中期に『枕草子』を著し、宮廷生活の機微を描いた人物は誰？
- 11 娘を天皇の后にして天皇の親戚となり、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰？
- 12 天台宗において、あらゆる人が救われるという教えの中心となっている経典を何という？
- 13 平泉の奥州藤原氏が、極楽浄土を表現するために建立した金箔の仏堂を何という？
- 14 平安時代初期に、唐で密教を学んで帰国し、高野山を拠点として真言宗を開いた僧は誰？
- 15 平安時代後期、阿弥陀如来や極楽浄土の世界を絵画・彫刻・建築で表現した美術を何という？
- 16 摂関家を外戚に持たず、荘園整理令を出して藤原氏の勢力を抑えた天皇は誰？
- 17 平安時代に発達し、日本の物語文学が発展するきっかけとなった、日本語の音を書き表す文字を何という？
- 18 平安時代初期、地方政治の立て直しを図り、国司への監督を強化した天皇は誰？
- 19 「この世をば わが世とぞ思ふ…」と詠み、当時の絶大な権力を誇示した人物は誰？
- 20 平安時代中期、天皇の后を出すことで政治の実権を握った代表的な一族は誰？
- 21 平安時代中期、天皇が幼いときに補佐する役職を何という？
- 22 空海が高野山に建立した、真言宗の総本山として知られる寺院は何？
- 23 平安時代末期、東北地方を拠点として独自の勢力を築いた一族を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る 答え	言えた
1	<u>白河上皇</u> は1086年に院政を開始しました。	<u>白河上皇</u>	☐
2	その要衝として、現在の兵庫県神戸市にある <u>大輪田泊</u> を修築しました。	<u>大輪田泊</u>	☐
3	<u>最澄</u> は、唐に渡って天台の教えを学び、日本に帰国して比叡山に延暦寺を建立しました。	<u>最澄</u>	☐
4	<u>遙任</u> （ようにん）は、国司が自らは現地に行かず、代わりに代官である「目代（もくだい）」などを派遣して統治させる形態です。	<u>遙任</u>	☐
5	894年、菅原道真の建議により遣唐使は停止されました。	<u>9世紀末</u>	☐
6	<u>紫式部</u> は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。	<u>紫式部</u>	☐
7	<u>醍醐天皇</u> は学問や芸術を尊重し、多くの文人を重用しました。	<u>醍醐天皇</u>	☐
8	<u>平清盛</u> は、平治の乱で源義朝を破って政権を握りました。	<u>平清盛</u>	☐
9	<u>後三条天皇</u> は、母が藤原氏の出身ではなかったため、藤原氏の影響をあまり受けずに即位しました。	<u>後三条天皇</u>	☐
10	<u>清少納言</u> は、中宮定子に仕えた女房です。	<u>清少納言</u>	☐
11	<u>藤原道長</u> は、娘を次々と天皇の妃として入内させることで、天皇の外戚として揺るぎない地位を確立しました。	<u>藤原道長</u>	☐
12	<u>法華経</u> は、天台宗が最も重視する經典で、「すべての人は平等に救われ、仏になることができる」という教えを説いています。	<u>法華経</u>	☐
13	<u>中尊寺金色堂</u> は、建物の内外を金箔で覆った非常に豪華な造りです。	<u>中尊寺金色堂</u>	☐
14	<u>空海</u> は遣唐使として唐へ渡り、恵果から密教の教えを授かりました。	<u>空海</u>	☐
15	<u>浄土教美術</u> は、阿弥陀如来や極楽浄土の華やかな世界を絵画、彫刻、建築に込めた芸術です。	<u>浄土教美術</u>	☐
16	<u>後三条天皇</u> は、母が藤原氏出身ではない天皇として即位しました。	<u>後三条天皇</u>	☐
17	<u>かな文字</u> は、漢字の一部を省略したり、崩したりして作られた文字体系です。	<u>かな文字</u>	☐
18	<u>桓武天皇</u> は長岡京を経て平安京へ都を移し、国家の立て直しを行いました。	<u>桓武天皇</u>	☐
19	<u>藤原道長</u> はこの戦略を最大限に活用しました。	<u>藤原道長</u>	☐
20	<u>藤原氏</u> は、自分の娘を天皇に嫁がせて生まれた子を次代の天皇にすることで、天皇の親戚（外戚）として権力を振るいました。	<u>藤原氏</u>	☐
21	<u>摂政</u> は天皇が幼少の際に代理として政治を行う役職であり、成人後は関白として補佐しました。	<u>摂政</u>	☐
22	<u>金剛峯寺</u> は、高野山にある真言宗の拠点となる寺院です。	<u>金剛峯寺</u>	☐
23	<u>奥州藤原氏</u> は、豊かな金の産出や馬の取引、大陸との貿易などを通じて莫大な富を築きました。	<u>奥州藤原氏</u>	☐

言えなかった用語ノート